

調査依頼書(CentreCOM FS707FC-ETC/SMF)

年 月 日

一般事項

1. 御社名：
 部署名：
 ご連絡先住所：〒
 TEL： ()
 FAX： ()
- ご担当者：
 購入先：
 購入先担当者：
 購入年月日：
 連絡先(TEL)： ()

ハードウェアとネットワーク構成

1. ご使用のハードウェア機種(製品名)、シリアル番号、リビジョン

製品名： CentreCOM FS707FC-ETC・FS707FC-SMF(どちらかを で囲んでください。)



2. お問い合わせ内容 別紙あり 別紙なし

設置中に起こっている障害 設置後、運用中に起こっている障害

3. ネットワーク構成図 別紙あり 別紙なし

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

PN J613-M6850-00 Rev.A 001114



ファーストイーサネット・スイッチ

CentreCOM[®] FS707FC-ETC/SMF ユーザーマニュアル

この度は、CentreCOM FS707FC-ETC/SMF(以下 FS707FC-ETC/SMF と略記します)をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本製品は、10BASE-T/100BASE-TX オートネゴシエーションポートを6ポート、100BASE-FXポートを1ポート装備したファーストイーサネットスイッチです。高温対策を施しておりますので、使用条件の厳しい環境でもご利用いただけます。本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後も、大切に保管してください。

POWER LED(緑)
電源が供給されるときに点灯します。

FULL LED(緑)
該当ポートが、Full Duplex で動作しているときに点灯します。消灯している場合は Half Duplex で動作していることを示します。

100M LED(緑)
該当ポートが100Mbpsで通信している状態を示します。ポートAは、電源オンの状態では常に点灯しています。ポート1~6は、100Mbpsで動作しているときのみ点灯します。10Mbpsで、動作しているときは消灯しています。

LINK/ACT LED(緑)
ポートと接続先の機器がリンクしたときに点灯します。また、ポートがバケットを送受信しているときに点滅します。

100BASE-FX ポート(ポートA)
SCコネクタを持った100Mbpsの光ファイバポートです。出荷時の設定で Full Duplex または、Half Duplex のいずれかに固定されています。(変更はできません。)この設定については動作時に FULL LED の A をご確認ください。(Full Duplex に設定されている場合のみ点灯します。)通常、出荷時の設定は Full Duplex に固定されています。

10BASE-T/100BASE-TXポート(ポート2~6)
これらのポートはオートネゴシエーション機能をサポートしているため、10Mbps/100Mbps、Full Duplex/Half Duplex を自動的に認識し、切り替えも自動的に行われます。接続先の機器がポートネゴシエーション機能をサポートしている場合は、理論上、最高で200Mbpsの伝送速度を実現することができます。

カスケードポート(ポート1)
100BASE-TX、または10BASE-TのUTPケーブルを接続するためのコネクタで、他のリピーターやスイッチと接続する場合に使用するカスケード接続用のポートです。このポートはオートネゴシエーション機能によって最適な通信速度(10Mbps/100Mbps)と通信モード(Full Duplex/Half Duplex)を自動設定します。

電源コネクタ
電源ケーブルを接続するためのコネクタです。電源スイッチはありませんので、電源ケーブルを接続すると、電源オンになります。

設置するまえに

設置にあたってのご注意
本製品の設置・使用を始める前に、必ず裏面の「安全のために」をよくお読みください。以下のような場所への設置は避けてください。

直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
傾いた場所や、不安定な場所に設置しないでください。
充分な換気ができるように本体側面をふさがないように設置してください。

テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。
電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置は避けてください。
コネクタの端子には触らないでください。(静電気を帯びた手(体)でコネクタの端子に触れると、静電気の放電による故障の原因となります。)

電源

電源電圧に合った適切な電源ケーブルを使用してください。日本国内などで、100Vでご使用になる場合は、FS707FC-ETC/SMFに付属のAC電源ケーブル(アース付き3ピンコネクタ)を使用し、3ピンのAC電源コンセントに接続してください。不適切な電源ケーブルやコンセントをご使用になると、アースがとれず本体の金属部に触れたときに感電する危険がありますので、ご注意ください。

設置、接続のしかた

ケーブル

すべてのケーブルが機器間を接続するのに適切な長さであることを確認します。

| ポートと端末間の最大ケーブル長 | | | |
|---------------------|-------------|-------------|-------|
| 10BASE-T/100BASE-TX | | 100m | |
| 100BASE-FX | FS707FC-ETC | Full Duplex | 2000m |
| | | Half Duplex | 412m |
| | FS707FC-SMF | Full Duplex | 15km |
| | | Half Duplex | 412m |

10BASE-T/100BASE-TXポート

100BASE-TXの場合はカテゴリ-5*、10BASE-Tの場合はカテゴリ-3以上のUTPケーブル*(ストレートタイプ)を使用してください。

* 弊社販売製品シールド付カテゴリ-5ケーブルにも対応しております。

100BASE-FXポート

FS707FC-ETCはマルチモードの光ファイバケーブル(MMF)で、FS707FC-SMFはシングルモードの光ファイバケーブル(SMF)で、それぞれコネクタタイプ(SC)の合ったケーブルを使用してください。

起動と停止

電源ケ×sc汲 フズ6pvV 側 /lv体背面の電源コネクタに接続し、プラグ側を電源コンセントに差し込むと起動します。電源ケーブルのプラグ側を電源コンセントから抜くと停止します。

⚠ 本製品には電源スイッチがありません。電源ケーブルを電源コンセントに接続した時点で電源が入りますのでご注意ください。

⚠ 電源ケーブルのプラグ側を電源コンセントに差し込んだまま、ソケット側を抜かないでください。感電事故を引き起こすおそれがあります。

通信速度 / 通信モードの設定

10BASE-T/100BASE-TXポート

接続先の機器の通信モードは次の表の 印の組み合わせになるように設定してください。

| 接続先 | FS707FC-ETC/SMF 10BASE-T/100BASE-TXポート | |
|-------------|---|--|
| | 10M Half | |
| 10M Full | | |
| 100M Half | | |
| 100M Full | | |
| オートネゴシエーション | | |

特長

10BASE-T/100BASE-TXを6ポート(1ポートはカスケード接続専用)と、100BASE-FXを1ポート装備
オートネゴシエーション機能をサポート
ストア&フォワード・スイッチング方式
ネットワーク機器の状態が一目でわかる LED表示機能付き
動作環境 最高60度までの熱対策設計
通信時に過度なトラフィックが発生した際のバケットの損失を防ぐバックプレッシャー機能をサポート
(Half Duplex動作時)
電源内蔵型

同梱品一覧

最初に梱包箱の中身を確認して、次のものが入っていることを確認してください。

また、本製品を移送する場合は、工場出荷時とおなじ梱包箱で再梱包をすることが望まれますので、本製品が納められていた梱包箱、緩衝剤などは捨てずに保管しておいてください。

- FS707FC-ETC/SMF 本体
- 電源ケーブル(AC 100V用)
- 製品保証書
- お客様インフォメーション登録カード
- シリアル番号シール
- ユーザーマニュアル(本書)

各部の名称と機能

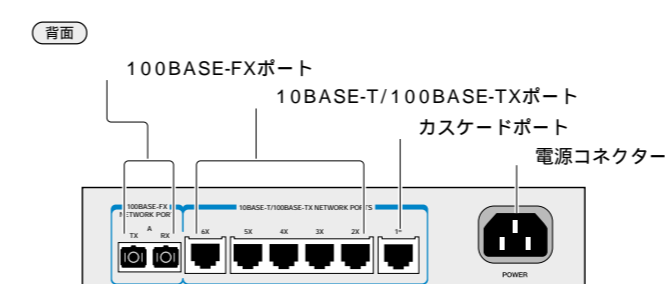
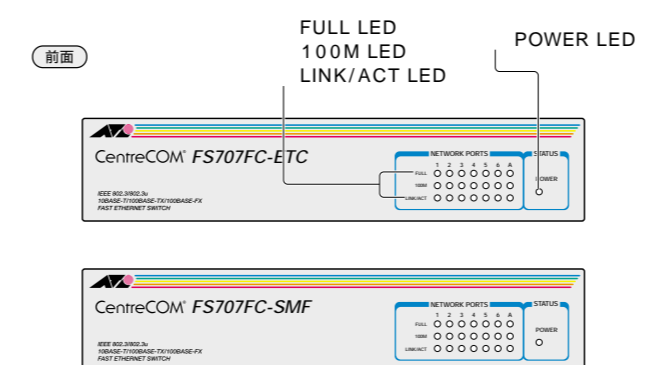


図1 外観図

IEEE802.3u 規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品の10BASE-T/100BASE-TXポートを接続する場合は、接続先機器の通信モードをHalf Duplexに設定してください。

100BASE-FXポート
100BASE-FXポートの通信速度は100Mbps固定です。

接続手順

1. 本体背面の各ポートと接続先の機器を適切なケーブルで接続します。

10BASE-T/100BASE-TXポート
UTPケーブルで接続します。

100BASE-FXポート
FS707FC-ETCはマルチモード光ファイバーケーブル(MMF)、FS707FC-SMFはシングルモード光ファイバーケーブル(SMF)で接続します。光ファイバーケーブルは2本で1対となっています。右図のように、一方の機器のTXともう一方の機器のRXと、一方の機器のRXをもう一方の機器のTXと接続します。

2. 電源ケーブルのソケット側を本体背面の電源コネクタに接続し、プラグ側を電源コンセントに差し込みます。

3. 本体前面のPOWER LED(緑)が点灯したことを確認します。UTPケーブルが正しく接続され、接続先の機器の電源が入っていれば、接続したポートのLINK/ACT LED(緑)が点灯します。

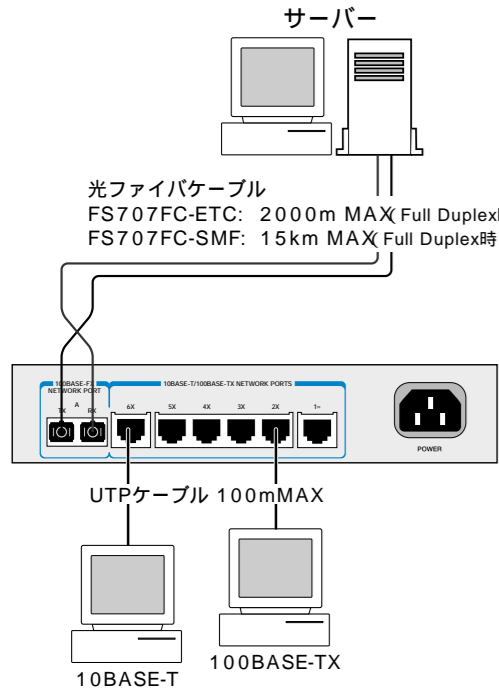


図2 スタンドアローンの接続例

カスケード接続

カスケードポート(ポート1)を使用すると、クロスケーブルを使用することなく、簡単にカスケード接続することができます。

また、スイッチ同士のカスケード接続では、カスケードできる数に理論上の制限がありません。そのため、用途に合わせてネットワークを拡張することができます。

カスケードの段数は、ネットワーク上で使用しているアプリケーションのタイムアウトによって、制限されることがあります。

1. 本製品のカスケードポートにUTPケーブル(ストレートタイプ)を接続します。

2. UTPケーブル(ストレートタイプ)のもう一方の端を接続先の機器の通常の10BASE-T/100BASE-TXポ

ートに接続します。

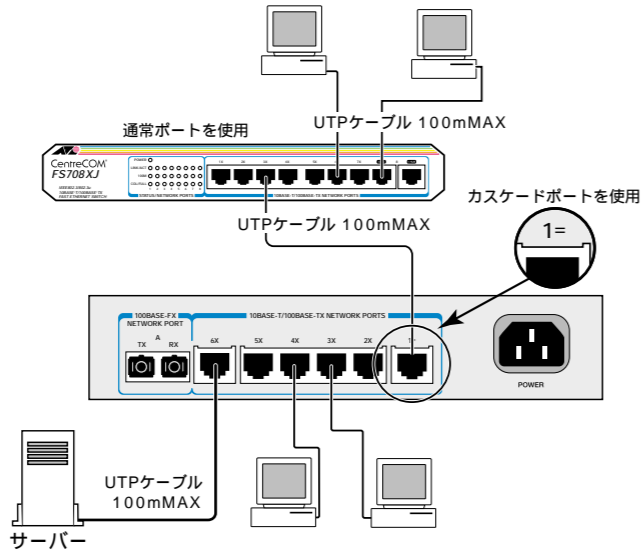


図3 カスケード接続の例

ネットワーク構成例

FS707FC-ETC/SMFでは光ファイバーの長距離接続性をいかにした、同一構内の建物間などの使用に適しています。

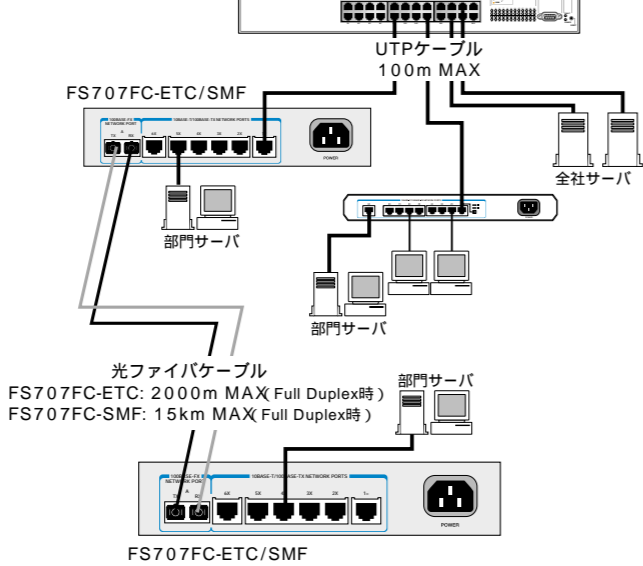


図4 FS707FC-ETC/SMFを使用した構成例

トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

POWER LEDは点灯していますか?
POWER LEDが点灯していない場合は、電源ケーブルに断線がないか、また、電源ケーブルが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

LINK/ACT LEDは点灯していますか?
LINK/ACT LEDは接続先の機器と正しく接続されているときに点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してください。

接続先の機器に電源が入っているか確認してください。また、端末に取り付けられているネットワークインターフェースカードに障害がないか、ネットワークインターフェースカードに正しくケーブルが接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。

UTPケーブルが正しく接続されているか、正しいUTPケーブルを使用しているか、UTPケーブルが断線していないかなどを確認してください。また、ケーブルの長さが制限を越えていないか確認してください。本製品と端末を接続するUTPケーブル、本製品と他のスイッチやリピーターを接続するUTPケーブルの長さはすべて100m以内と規定されています。

光ファイバーケーブルが正しく接続されているか、正しい光ファイバーケーブルが使用されているか、光ファイバーケーブルが断線していないかなどを確認してください。また、ケーブルの長さが制限を越えていないか確認してください。光ファイバーケーブルの長

さはFull Duplexの場合、FS707FC-ETCは最長2km、FS707FC-SMFは最長15km、Half Duplexの場合、FS707FC-ETC/SMFとも最長412mと規定されています。

光ファイバーケーブルがクロス接続(TX RX, RX TX)となっているか確認してください。

本製品のカスケードポートを確認してください。本製品と他のスイッチやリピーターをカスケード接続する場合は、本製品のカスケードポートと接続先機器の通常の10BASE-T/100BASE-TXポートを接続してください。

特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

リピーター(=ハブ)の数が制限を越えてないか確認してください。ファーストイーサネット(100Mbps)の場合、クラスIIリピーター(=ハブ)は、1つのコリジョンドメイン内に2台まで接続することができます。その場合、リピーター間のケーブルの長さは5m以内としてください。クラスのリピーターはカスケード接続することができません。イーサネット(10Mbps)の場合、カスケード接続できるリピーターの台数は、最大4台までとされています。

製品仕様

| サポート規格 | |
|---------------|---|
| | IEEE 802.3: 10BASE-T IEEE 802.3u: 100BASE-TX/FX |
| 転送モード | |
| | ストア&フォワード固定 |
| 100BASE-FXポート | |
| 波長 | 1300nm |
| 出力 | FS707FC-ETC: -20dBm ~ -14dBm FS707FC-SMF: -15dBm ~ -8dBm |
| 受光感度 | FS707FC-ETC: -31.0dBm 以下 FS707FC-SMF: -28.0dBm 以下 |
| 電源部 | |
| 定格入力電圧 | AC100-240V |
| 入力電源範囲 | AC90 ~ 255V |
| 定格周波数 | 50/60Hz |
| 最大入力電流 | 0.2A |
| 平均消費電力 | 6.8W (最大9.0W) |
| 平均発熱量 | 2.9kcal/h (最大7.7kcal/h) |
| 環境条件 | |
| 保管時温度 | -20 ~ 60 |
| 保管時湿度 | 95%以下 (ただし結露なきこと) |
| 動作時温度 | 0 ~ 60 |
| 動作時湿度 | 80%以下 (ただし結露なきこと) |
| 外形寸法 | |
| | 210(W) × 107(D) × 44(H) |
| 重量 | |
| | 800g |
| MACアドレス登録数 | |
| | 4,000個 |
| MACアドレス保持時間 | |
| | 250秒 |
| メモリー容量 | |
| | 512KByte |

保証

製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みなり、「お客さまインフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客さまインフォメーション登録係」までご返送ください。「お客さまインフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のサポートなどが受けられません。

保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(人の生命・身体に関する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記の番号までFAXしてください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。FAXによって詳細な情報を送付いただくほうが、電話による問い合わせよりも遥かに早く問題を解決することができます。記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

アライドテレシス サポートセンター

Tel: ☎ 0120-860-772
月~金(祝・祭日を除く) 9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 18:00
土(祝・祭日を除く) 10:00 ~ 17:00
Fax: ☎ 0120-860-662
年中無休 24時間受け付け

調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

ご使用のハードウェアについて

製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョンコード(Rev)を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品の底面に貼付されているバーコードシールに記入されています。

(例) 

お問い合わせ内容について

どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に再現できるように記入してください。エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

ネットワーク構成図について


ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

おことわり

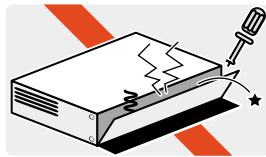
本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、すべての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。

安全のために

必ずお守りください

 **警告** 下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。

 分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない
感電の原因となります。

 雷のときはさわらない

異物はいれない 水は禁物
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

 異物厳禁

表示以外の電圧では使用しない
火災や感電の原因となります。本製品はAC100-240Vで動作します。なお、本製品に付属の電源ケーブルは100V用ですのでご注意ください。

 電圧注意

正しい電源ケーブル・コンセントを使用する
不適切な電源ケーブル・コンセントは火災や感電の原因となります。接地端子付きの3ピン電源ケーブルを使用し、接地端子付きの3ピン電源コンセントに接続してください。

 3ピンコンセント

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない
たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

 たこ足禁止

通風口はふさがらない
内部に熱がこもり、火災の原因となります。

 ふさがらない

設置・移動のときは電源プラグを抜く
感電の原因となります。

 プラグを抜く

電源ケーブルを傷つけない
火災や感電の原因となります。電源ケーブルやプラグの取扱上の注意：
・加工しない、傷つけない。
・重いものを載せない。
・熱器具に近づけない、加熱しない。
・電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

 傷つけない

光源をのぞきこまない
目に障害が発生する場合があります。光ファイバーケーブルのコネクタ、ケーブルの断面、製品本体のコネクタなどをのぞきこまないでください。

 のぞかない

ご使用にあたってのお願い

静電気注意
本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

 シンナー類禁止

次のような場所での使用や保管はしないでください
・直射日光の当たる場所
・暖房器具の近くなどの高温になる場所
・急激な温度変化のある場所(結露するような場所)

予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。ご了承ください。改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。ご了承ください。本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright © 2000 アライドテレシス株式会社

商標

CentreCOMは、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

マニュアルバージョン

2000年11月 Rev.A 初版

・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所(湿度80%以下の環境でご使用ください)
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所や、ジュタンを敷いた場所(静電気障害の原因になります)

取り扱いはいけない
落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。



お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で誤動作の原因になります。



機器は、乾いた柔らかい布で拭く
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をしみこませ、強く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

ぬらすな 中性洗剤 強く絞る 使用

お手入れには次のものは使わないでください
石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん(化学ぞうきん)をご使用のときは、その注意書に従ってください。

 シンナー類禁止